款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費

小事業名	都市計画決定事務
施策の体系	生活の基盤が整ったまちをつくろう
	土地利用

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
4,626 千円	4,689 千円	98.7 %	76 円	一般財源 75 円	406 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	16千円	0千円	0千円	0千円	0千円	4,610千円

1 事業内容 【拡充】

(1) 学識経験者等10人で構成する都市計画審議会を開催し、都市計画に関する審議等を行いました。また、今後のまちづくりを進める上での参考とするため、静岡県湖西市に視察研修に行きました。

≪都市計画審議会の開催実績≫

期日	内容	出席委員
5月29日(木)	報告事項: 豊田都市計画(みよし市)の概要について	8人
8月18日(月)	報告事項: 豊田都市計画地区計画(福谷大沢地区)について 豊田都市計画下水道(福谷広久伝地区)ほかの変更について	8人
12月19日(金)	審議事項: 豊田都市計画用途地域の変更(福谷大沢地区)について 豊田都市計画福谷大沢地区計画の決定について 豊田都市計画下水道(みよし公共下水道)の変更について	10人
	報告事項: 豊田都市計画区域区分の変更(愛知県決定)について	

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報酬	都市計画審議会委員報酬(会議10人、視察研修4人)	175,000円
委託料	市街化区域内低未利用地解消事業業務委託	4,136,000円
賃借料	都市計画審議会視察研修車借上料	113,580円
負担金	公益財団法人都市計画協会等負担金 [交付先]公益財団法人都市計画協会等	148,000円

2 事業の成果

都市計画審議会において、用途地域の変更等について審議し、都市計画決定を行うことができました。また、市街化区域内の低未利用地を解消するため、地権者説明会、意向調査及び地区計画案の検討を行いました。

作成課【都市建設部 都市計画課】	事務事業番号	610102

都市計画決定事務におけるSDGsの取組



款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費

小事業名	都市計画基本図作成事業
施策の体系	生活の基盤が整ったまちをつくろう
	土地利用

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
41,147 千円	41,218 千円	99.8 %	674 円	一般財源 673 円	297 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	13千円	41,134千円

1 事業内容 【拡充】

(1) 航空写真を用いて地形、家屋の配置状況等を図化し、各種図面の基図となる都市計画基本図を作成しました。都市計画基本図をもとに作成した都市計画図、用途地域図及び白図を印刷し、印刷した図面は各種申請書類の位置図、配置図及び土地利用計画図等に利用しました。また、市民課においてこれらの販売を行いました。

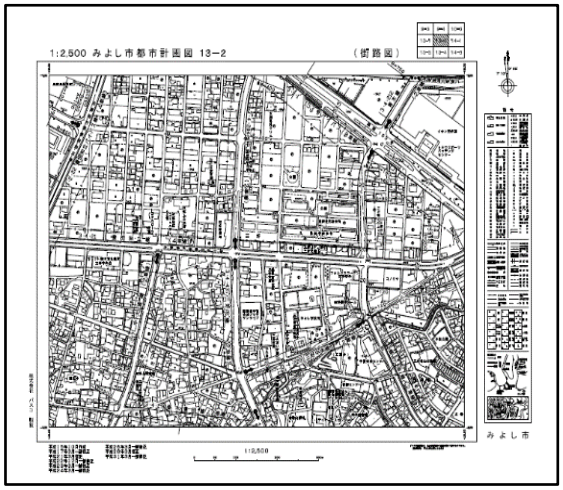
(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
印刷製本費	都市計画図等印刷	556,600円
委託料	都市計画基本図修正業務委託(全部修正)	40,590,000円

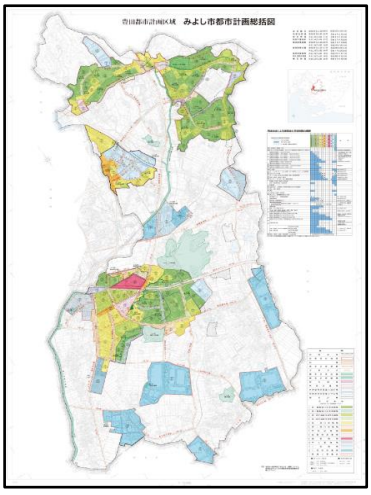
2 事業の成果

航空写真を用いて市内全域における建築物の建築や土地利用の変化があった箇所について、基図となる都市計画基本図の修正業務を行いました。

印刷した図面は、各種申請書類の位置図、配置図及び土地利用計画図等に利用することができました。また、都市計画図等が必要な方向けに図面を販売し、行政サービスの提供を行うことができました。



都市計画図



用途地域図



白図

作成課【都市建設部 都市計画課】	事務事業番号	610103

都市計画基本図作成事業におけるSDGsの取組

款	08　土木費	項	04　都市計画費	目	01　都市計画総務費

小事業名	まちづくり基本計画更新事務（繰越明許費）
施策の体系	生活の基盤が整ったまちをつくろう
	土地利用

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
6,468　千円	7,513　千円	86.1　%	106　円	一般財源　106　円	－　千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	6,468千円

1 事業内容

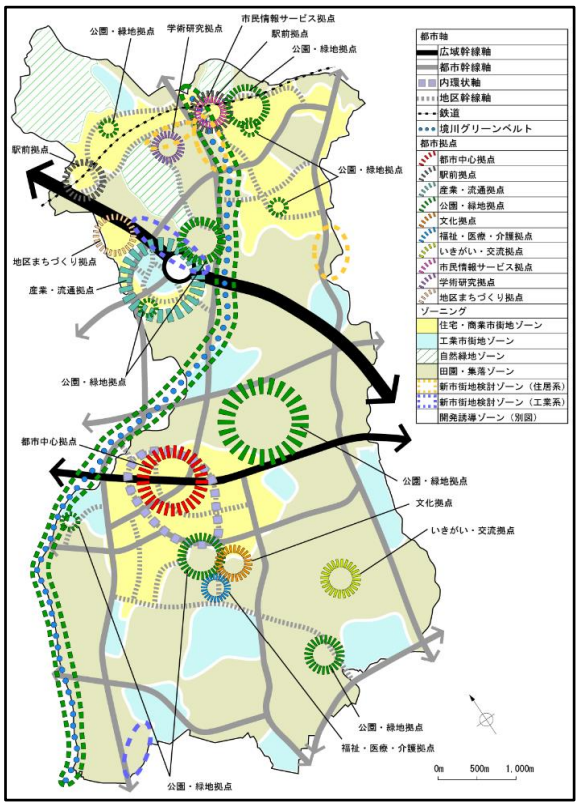
(1) 第2次みよし市総合計画後期基本計画、第2次みよし市環境基本計画等の改定等に伴い、関連計画等との整合を図るため、都市計画に関する基本的な方針を定めるまちづくり基本計画の改定作業を行いました。

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
委託料	まちづくり基本計画見直し業務委託	6,468,000円

2 事業の成果

まちづくり基本計画の中間見直しでは、新市街地検討ゾーンの再配置、必要な都市施設の追記及び社会情勢や上位・関連計画を踏まえた見直しを行いました。



将来都市構造図

作成課【都市建設部　都市計画課】	事務事業番号	610105

まちづくり基本計画更新事務（繰越明許費）におけるSDGsの取組

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費
小事業名	**まちづくり土地利用条例手続事務**				
施策の体系	生活の基盤が整ったまちをつくろう				
	土地利用				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
61 千円	123 千円	49.6 %	1 円	一般財源 1 円	123 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	61千円

1 事業内容

(1) まちづくり土地利用条例に基づく小規模開発事業の手続並びに特定開発事業の手続及び基準の審査等を行いました。

また、学識経験者等5人で構成するまちづくり審議会を開催し、まちづくり土地利用条例の施行状況について審議しました。

≪開発事業の審査状況≫

区 分	審査件数
小規模開発事業	48件
特定開発事業	19件

≪まちづくり審議会の開催実績≫

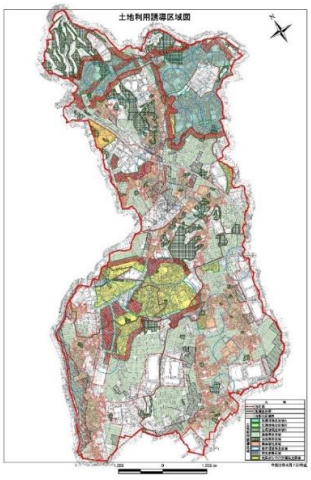
期 日	内 容	出席委員
4月17日(木)	審議事項: まちづくり土地利用条例の施行状況について	5人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	まちづくり審議会委員報酬(5人)	61,000円

2 事業の成果

まちづくり土地利用条例に基づく小規模開発事業の手続並びに特定開発事業の手続及び基準の審査等を行うことで、秩序ある土地利用と良好な住環境の形成を図ることができました。



土地利用誘導区域図

作成課【都市建設部 都市計画課】	事務事業番号	610106

まちづくり土地利用条例手続事務におけるSDGsの取組

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費
小事業名	**みどりと景観計画推進事業**				
施策の体系	便利で快適な住環境をつくろう				
	景観				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
727 千円	**736 千円**	**98.8 %**	**12 円**	**一般財源 12 円**	**39 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	727千円

1 事業内容 **【拡充】**

(1) 学識経験者等4人で構成するみどりと景観審議会を開催し、景観重要樹木の指定について審議しました。

また、景観法(以下「法」という。)に基づき、みどりと景観計画区域内における行為の届出に対して審査を行いました。

≪みどりと景観審議会の開催実績≫

期日	内容	出席委員
3月17日(火)	審議事項: 景観重要樹木の指定について	4人
	報告事項: 景観届出件数について みどりと景観計画アクションプランの進捗状況について みよし市景観百選について	

≪行為の届出の審査状況≫

区分	審査件数
行為届出書(法第16条第1項に基づく届出)	27件
行為変更届出書(法第16条第2項に基づく届出)	5件
行為通知書(法第16条第5項に基づく通知)	4件

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報酬	みどりと景観審議会委員報酬(4人)	28,000円
委託料	景観重要樹木指定候補樹木診断業務委託	669,240円

2 事業の成果

景観重要樹木指定候補樹木診断業務委託を実施し、その結果を基にみどりと景観審議会で景観重要樹木の指定について審議しました。

また、みどりと景観計画における行為の届出を審査することで、良好な景観形成を図ることができました。

作成課【都市建設部 都市計画課】	事務事業番号	620401

みどりと景観計画推進事業におけるSDGsの取組

款	08　土木費	項	04　都市計画費	目	01　都市計画総務費

小事業名	庁内統合型GIS整備事業
施策の体系	効果的・効率的で安定した行財政運営
	行政改革・行政評価

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
2,639　千円	2,639　千円	100　%	43　円	一般財源　43　円	3,021　千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	2,639千円

1 事業内容　　【重点施策】

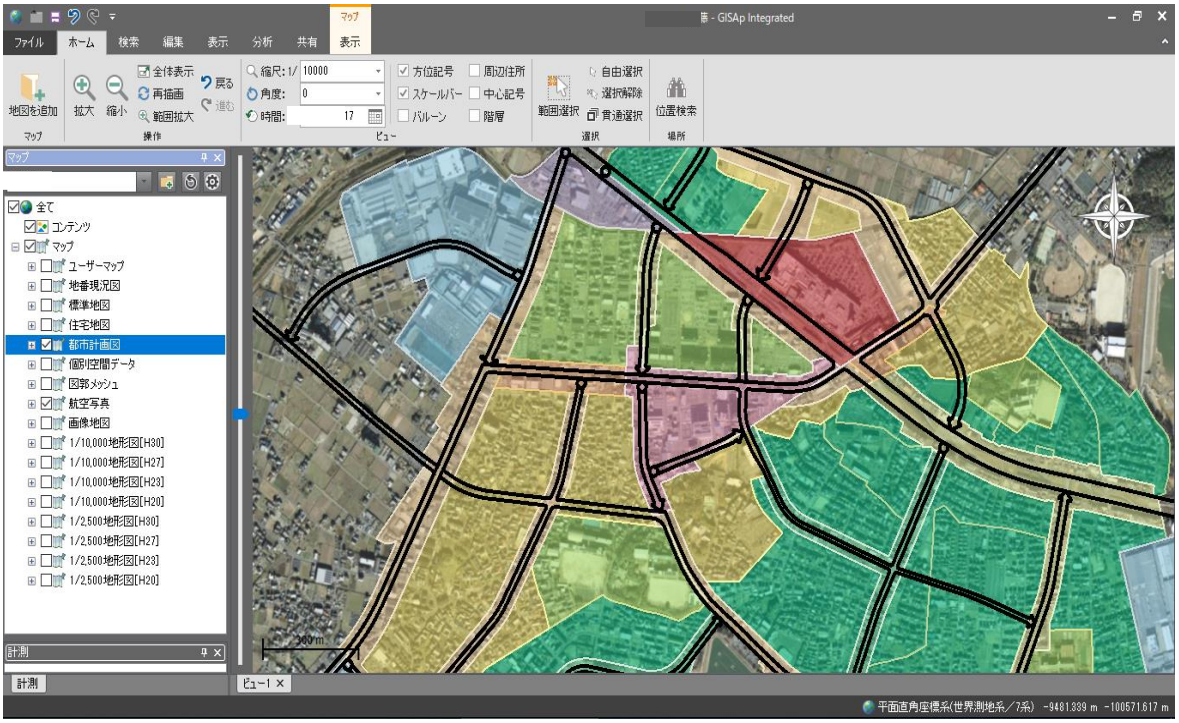
(1) 庁内統合型地理情報システムの維持管理と機器保守を行いました。

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
消耗品費	カラープリンタトナー・ドラムカートリッジ等	218,790円
委託料	庁内統合型地理情報システム保守業務委託	2,420,000円

2 事業の成果

庁内統合型地理情報システムにより、各課が有する地図情報を全庁的に共有でき、効率的かつ効果的に事務事業を行うことができました。



庁内統合型地理情報システム

作成課【都市建設部　都市計画課】	事務事業番号	730205

庁内統合型GIS整備事業におけるSDGsの取組

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 都市街路整備費
小事業名	**公共駐輪場整備管理事業**				
施策の体系	便利で快適な住環境をつくろう				
	公共交通				

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
8,173 千円	9,073 千円	90.1 %	134 円	一般財源 134 円	2,944 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	8,173千円

1 事業内容 **【拡充】**

(1) 公共駐輪場の適正な維持管理を実施し、駐輪場内の環境維持と駅を利用する歩行者等の安全な通行の確保を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	公共駐輪場整理清掃業務委託(三好ヶ丘駅、黒笹駅、三好上バス停)	2,928,640円
	駐輪場設計業務委託(黒笹駅駐輪場)	5,104,000円

2 事業の成果

市内3箇所(三好ケ丘駅駐輪場、黒笹駅駐輪場及び三好上バス停駐輪場)の公共駐輪場の清掃や自転車の整理等の適正な管理を行うことにより、歩行者や駐輪場利用者の通行の安全を確保し、安心して便利に公共交通機関を利用してもらうことができました。

また、駐輪場での放置自転車等の確認撤去作業を年3回行うことで、駐輪スペースの確保と駅周辺等の環境保全及び防犯・交通安全対策を推進することができました。

黒笹駅の駐輪場が不足しており、通路部分やモニュメント周辺に自転車が溢れている状態となっているため、新たな駐輪場を設置するための設計業務委託を行いました。



黒笹駅駐輪場

①


②


指定場所以外の駐輪状況

作成課【都市建設部 道路河川課】	事務事業番号	620102

公共駐輪場整備管理事業におけるSDGsの取組

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 都市街路整備費
小事業名	**都市計画道路整備事業**				
施策の体系	便利で快適な住環境をつくろう				
	道路				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
435 千円	**436 千円**	**99.8 %**	**7 円**	**一般財源 7 円**	**6,520 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	435千円

1 事業内容

(1) 都市計画道路東郷三好線の整備に向け、相続人が不明な用地の相続人を特定するための調査業務委託を行いました。

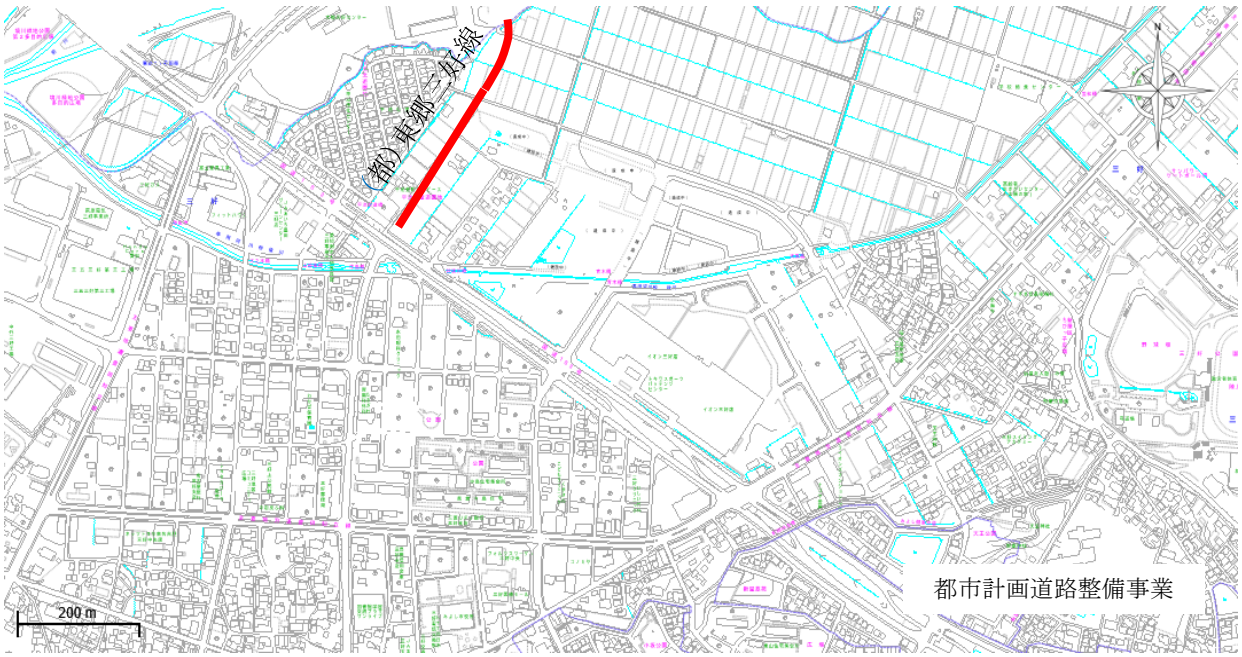
(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	相続人確定業務委託	415,486円

2 事業の成果

都市計画道路整備事業を計画的に実施し、誰もが安心して出掛けられ、移動が円滑にできる都市機能の向上を推進することができました。

また、相続人不明土地の調査が完了し、用地交渉の実施に向けて着実に準備を進められました。



作成課【都市建設部 道路河川課】	事務事業番号	620206

都市計画道路整備事業におけるSDGsの取組

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 下水道総務費

小事業名	下水道施設整備基金積立事務
施策の体系	生活の基盤が整ったまちをつくろう
	下水道

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
205,005 千円	205,005 千円	100 %	3,356 円	一般財源 3,274 円	201,516 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	5,005千円	200,000千円

1 事業内容

(1) 基金への積立て及び基金の運用に伴い生じた利子の積立てを行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
積立金	下水道施設整備基金積立金	200,000,000円
	下水道施設整備基金積立金利子	5,004,660円

作成課【都市建設部 下水道課】	事務事業番号	610381

下水道施設整備基金積立事務におけるSDGsの取組

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 下水道総務費

小事業名	下水道負担金・出資金事業
施策の体系	生活の基盤が整ったまちをつくろう
	下水道

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
751,905 千円	751,906 千円	99.9 %	12,308 円	一般財源 9,034 円	738,670 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	200,000千円	551,905千円

1 事業内容

(1) 下水道事業を円滑に運営するため、一般会計から下水道事業会計へ財源を繰出しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
負担金	雨水処理及び分流式下水道等の経費等に係る負担金	543,346,328円
出資金	建設改良費及び企業債元金償還に係る出資金	208,559,000円

作成課【都市建設部 下水道課】	事務事業番号	610382

下水道負担金・出資金事業におけるSDGsの取組

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 土地区画整理指導費
小事業名	**区画整理指導・支援事務**				
施策の体系	便利で快適な住環境をつくろう				
	市街地整備				

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
16,160 千円	**17,146 千円**	**94.2 %**	**265 円**	**一般財源 265 円**	**14 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	16,160千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1) 土地区画整理事業の推進を図るため、新規地区の立上げに向けた業務委託を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	福谷北地区まちづくり支援業務委託	16,135,900円

2 事業の成果

福谷北地区まちづくり支援業務委託を発注し、福谷北地区まちづくり世話人会との会議を6回開催しました。また、全地権者対象にまちづくりの構想についての説明や土地区画整理事業についての理解を深めていただくための説明会を3回開催し、福谷北地区における土地区画整理事業の推進を図りました。



福谷北地区航空写真

作成課【都市建設部 公園緑地課】	事務事業番号	620301

区画整理指導・支援事務におけるSDGsの取組

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 都市公園整備費

小事業名	都市公園整備事業（繰越明許費を含む）
施策の体系	緑を守り育て、まちを美しくしよう
	緑のまちづくり

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
288,545 千円	294,995 千円	97.8 %	4,723 円	一般財源 3,190 円	302,851 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	48,494千円	20,000千円	25,200千円	0千円	0千円	0千円	194,851千円

1 事業内容

(1) 各都市公園の整備計画に基づき、公園整備工事、設計業務委託及び福谷公園整備事業用地の取得を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	三好公園東エリア基本構想策定業務委託	12,005,400円
	三好公園総合体育館屋根雨漏改修工事設計業務委託	3,850,000円
	(仮称)荒畑公園用地測量業務委託	5,423,000円
	(仮称)荒畑公園不動産鑑定業務委託	3,465,000円
	(仮称)荒畑公園基本構想策定業務委託【繰越明許費】	8,466,700円
	福谷公園物件移転補償調査算定業務委託	1,870,000円
工事請負費	三好公園整備工事(週休2日)	89,867,800円
	三好公園整備工事その2(週休2日)	20,966,000円
	三好公園休憩施設等整備工事(週休2日)	16,678,200円
	黒笹公園駐車場整備工事(週休2日)	5,046,800円
公有財産購入費	福谷公園整備事業用地購入[6筆2名]	60,234,798円
備品購入費	移動式休憩施設等(4棟)	36,630,000円

2 事業の成果

各工事を実施したことにより、公園の安全性や利便性が向上し、整備推進を図ることができました。

三好公園では南エリアの一部を整備し、遊具や東屋等を設置しました。これにより南エリアについては整備が完了しました。また、三好公園第7駐車場に移動式休憩施設を整備し、三好公園利用者の利便性の向上を図りました。

三好公園総合体育館では、屋根の雨漏改修工事設計業務委託を実施し、工事発注に必要な設計図書の作成を行いました。

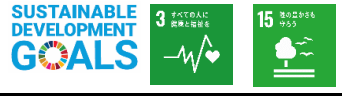
黒笹公園では利用者の駐車場不足を解消するため、駐車場を新たに整備しました。

福谷公園については用地買収に伴い発生する果樹等の補償費算定や整備事業に向けて用地の購入を行いました。

(仮称)荒畑公園では整備に向けて必要な基本構想の策定や用地測量の業務委託を行いました。

作成課【都市建設部 公園緑地課】	事務事業番号	510112

都市公園整備事業（繰越明許費を含む）におけるSDGsの取組



款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	06 都市公園管理費

小事業名	公園維持管理事業
施策の体系	緑を守り育て、まちを美しくしよう
	緑のまちづくり

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
352,208 千円	358,968 千円	98.1 %	5,765 円	一般財源 5,736 円	310,823 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	1,138千円	0千円	674千円	350,396千円

1 事業内容

(1) 公園利用者の安全を図り、緑地の景観を維持するため、公園、緑地及び緑道の維持管理を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	都市公園遊具点検業務委託	7,296,145円
	三好公園・保田ヶ池公園維持管理業務委託	50,600,000円
	小坂公園ほか28公園維持管理業務委託	28,954,200円
	大沢公園ほか36公園緑地維持管理業務委託	32,805,300円
	境川緑地維持管理業務委託	38,551,700円
	緑地・緑道維持管理業務委託	26,756,400円
	三好丘公園ほか38公園緑地維持管理業務委託	29,822,815円
	境川・三好池花壇管理業務委託	1,301,268円
	三好池敷周辺管理委託	11,946,400円
	愛知用水三好支線緑道(みどりのこみち)管理業務	9,498,000円
	都市公園駐車場施錠管理業務委託	2,257,348円
	水環境整備施設維持管理業務委託	3,640,940円
	公園清掃・利用者管理業務委託	13,997,022円
	三好公園樹木調査診断業務委託	2,981,000円
	公園台帳修正業務委託(三好丘桜公園)	2,255,000円
	勤労体育センター動力配線工事設計業務委託	1,155,000円
工事請負費	公園照明灯LED化改修工事(週休2日)	19,792,300円
	三好公園勤労体育センター動力配線工事(週休2日)	10,334,500円
	三好公園樹木対策工事(週休2日)	9,982,500円

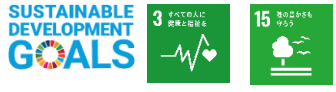
2 事業の成果

公園、緑地及び緑道を維持管理することで、市民が緑と触れ合う癒しの場と、憩いの空間を提供することができました。また、公園照明灯LED化改修工事(週休2日)では、灯具を含めた照明灯のLED化を行い、環境負荷の低減及び電力料コスト削減を図ることができました。

三好公園勤労体育センターでは、動力配線工事設計業務委託及び動力配線工事を実施し、動力配線の改善工事を行いました。

作成課【都市建設部 公園緑地課】	事務事業番号	510113

公園維持管理事業におけるSDGsの取組



款	08　土木費	項	04　都市計画費	目	07　地区施設整備費

小事業名	地区計画区域内施設整備事業（継続費逓次繰越を含む）
施策の体系	便利で快適な住環境をつくろう
	市街地整備

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
769,754　千円	979,680　千円	78.6 %	12,600　円	一般財源　11,390　円	285,124　千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	73,910千円	0千円	695,844千円

1 事業内容　　【拡充・重点施策】

(1) 地区計画決定された三好中島地区計画の区域内に計画されている地区施設(調整池3箇所)について、整備を完了しました。

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
委託料	調整池築造工事(週休2日)監理業務委託(三好中島地区計画3号調整池)	8,484,800円
	調整池築造工事(週休2日)監理業務委託(三好中島地区計画3号調整池)【継続費】	786,000円
工事請負費	調整池築造工事(週休2日)(三好中島地区計画3号調整池)	663,589,500円
	調整池築造工事(週休2日)(三好中島地区計画3号調整池)【継続費】	92,090,000円
補償費	物件移転補償費(三好中島地区計画3号調整池)	4,803,617円

2 事業の成果

第3号調整池の築造が完了し、「三好中島地区計画」に計画されている調整池3箇所の整備が完了したため、三好中島地区の水害の危険性を低減させることができました。



三好中島地区第3号調整池

作成課【都市建設部　道路河川課】	事務事業番号	620302

地区計画区域内施設整備事業（継続費逓次繰越を含む）におけるSDGsの取組

款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅総務費

小事業名	住宅・建築物安全ストック形成事業
施策の体系	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう
	防災・減災

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
24,733 千円	26,211 千円	94.4 %	405 円	一般財源 213 円	18,078 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	7,800千円	3,922千円	0千円	0千円	0千円	0千円	13,011千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1) 建築物等の耐震化を促進するため、補助事業等のPRを行い、民間木造住宅の無料耐震診断を実施するとともに、木造住宅の耐震改修、建築物の撤去等について補助事業を行いました。

また、建築物耐震改修促進計画の改訂を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	民間木造住宅耐震診断業務委託(38件)	1,793,600円
	建築物耐震改修促進計画改訂業務委託	6,787,000円
補助金	住宅耐震改修費補助金[交付先]個人(11件)	13,200,000円
	住宅段階的耐震改修費補助金[交付先]個人(1件)	600,000円
	建築物撤去費補助金[交付先]個人(5件)	1,200,000円
	コンクリートブロック塀等撤去費及びフェンス等設置費補助金[交付先]個人(6件)	1,131,000円

2 事業の成果

耐震診断を契機に、木造住宅の耐震化の必要性を認識してもらうとともに、耐震改修工事費の補助を行うことにより、耐震化を促進することができました。また、耐震性のない建築物や倒壊のおそれのある危険なブロック塀等の撤去費の補助を行うことにより、地震発生時の倒壊による被害の軽減を図ることができました。

建築物耐震改修促進計画の改訂は、住宅・特定建築物の耐震化の進捗状況の確認、アンケート調査等を実施し、目標達成に向けての方策を検討しました。



啓発用チラシ



啓発用のぼり

作成課【都市建設部 都市計画課】	事務事業番号	310101

住宅・建築物安全ストック形成事業におけるSDGsの取組

款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅管理費
小事業名	**市営住宅維持管理事業(継続費逓次繰越を含む)**				
施策の体系	その他(体系外)				
	その他				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
352,576 千円	**383,677 千円**	**91.9 %**	**5,771 円**	**一般財源 2,704 円**	**239,969 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	138,027千円	0千円	0千円	49,353千円	0千円	0千円	165,196千円

1 事業内容 **【拡充】**

(1) 市営住宅に関する入退去管理事務及び建物の維持管理を行いました。また、市営住宅管理システムの更新を行いました。団地別では、福谷住宅B棟外壁等改修工事、茁生住宅A棟外壁等改修工事設計業務委託並びに明知住宅大規模改修(1期)工事及び工事監理業務委託を行いました。

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
修繕費	空家修繕(6戸)、その他修繕	5,134,261円
委託料	市営住宅総合維持管理業務委託	8,420,000円
	市営住宅樹木管理業務委託	4,653,000円
	市営住宅管理システム更新業務委託	12,870,000円
	明知住宅大規模改修(1期)工事監理業務委託	4,795,000円
	明知住宅大規模改修(1期)工事監理業務委託【継続費】	2,000円
	茁生住宅A棟外壁等改修工事設計業務委託	3,245,000円
	明知住宅浴室清掃業務委託	462,000円
工事請負費	福谷住宅B棟外壁等改修工事(週休2日)	57,164,800円
	明知住宅大規模改修(1期)建築工事(週休2日)	190,590,000円
	明知住宅大規模改修(1期)機械工事(週休2日)	23,750,000円
	明知住宅大規模改修(1期)機械工事(週休2日)【継続費】	5,698,000円
	明知住宅大規模改修(1期)電気工事(週休2日)	20,521,000円
	明知住宅大規模改修(1期)電気工事(週休2日)【継続費】	9,092,000円

2 事業の成果

市営住宅の適正な管理及び良好な住居環境の維持・保全ができました。

福谷住宅B棟外壁等改修工事を完了し、使用に適する良好な状態とすることができました。

明知住宅大規模改修(1期)工事監理業務委託、明知住宅大規模改修(1期)工事及び明知住宅浴室清掃業務委託を行い、内装改修等の住環境を改善することができました。

3 その他

明知住宅大規模改修工事については、令和4年度に基本設計業務、令和5年度に実施設計業務が完了し、令和6年度から令和9年度までにかけてA棟を改修工事しており、本年度は計画どおり工事が完了しました。令和9年度から令和12年度までにかけてはB棟の改修工事を行う予定です。

作成課【都市建設部 都市計画課】	事務事業番号	810169

市営住宅維持管理事業(継続費逓次繰越を含む)におけるSDGsの取組



款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 非常備消防費
小事業名	**消防団管理運営事業**				
施策の体系	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう				
	消防				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
57,981 千円	**69,246 千円**	**83.7 %**	**949 円**	**一般財源 733 円**	**66,400 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	110千円	0千円	0千円	0千円	13,105千円	44,766千円

1 事業内容

(1) 地域の防火・防災の要となる消防団員の活動に報いるため、報酬を支給するとともに、退職した団員に対し、退職報償金を支払いました。また、市操法大会の開催や県操法大会への出場支援、分団長や女性消防団の研修を行いました。そのほか、消防団及び各分団に対し、運営交付金を交付しました。

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
報酬	団員報酬(297人)	36,629,050円
報償費	退職報償費(16人)	4,537,000円
消耗品費	消防団加入促進啓発品	220,000円
備品購入費	消防操法用ホース(6本)	231,000円
負担金	消防団員等公務災害補償等共済掛金 [交付先]消防団等公務災害補償等共済基金	7,971,132円
交付金	消防団活動交付金 [交付先]本部、消防団15分団	5,056,634円
	県大会出場分団交付金 [交付先]茀生分団	500,000円

2 事業の成果

消防団員の活動に対する報酬や退団報償金を支払うことで、適切な処遇を行うことができました。

また、市操法大会や県操法大会への出場、各種研修を通じ、消防技術の向上や防災の知識を深めることで、地域防災の要となる消防団を強化することができました。

そのほか、市内の園児・児童に消防団への親しみや興味を持ってもらうため、こども向け消防団啓発用品を購入し、将来の消防団への加入促進を図ることができました。

作成課【総務部　防災安全課】	事務事業番号	310202

消防団管理運営事業におけるSDGsの取組



款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 非常備消防費

小事業名	消防団装備等整備・管理事業
施策の体系	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう
	消防

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
5,465 千円	6,086 千円	89.8 %	89 円	一般財源 73 円	21,219 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,000千円	4,465千円

1 事業内容

(1) 消防団活動に必要となる被服、各種消耗品等の配備充実を進め、地域の防災力向上を図りました。

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
消耗品費	団員被服、安全靴、手袋、帽子等	2,607,454円
燃料費	消防団車両ガソリン、可搬ポンプガソリン等	358,996円
修繕費	消防団ポンプ修理	336,413円
保険料	自賠責保険料、任意保険料	229,930円
手数料	車検代、法定点検代	997,971円
委託料	消防用小型ポンプ保守点検業務委託	588,720円
公課費	消防車両重量税	268,800円

2 事業の成果

消防団車両を適切に維持し、被服等を支給することにより、各分団の消防力及び防災対応力を高め、地域の安全安心の要として活動できる環境づくりを進めることができました。



消防団車両


消防団活動服

作成課【総務部 防災安全課】	事務事業番号	310203

消防団装備等整備・管理事業におけるSDGsの取組

款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 消防施設費
小事業名	**消防施設整備・維持事業**				
施策の体系	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう				
	消防				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
13,956 千円	**14,705 千円**	**94.9 %**	**228 円**	**一般財源 179 円**	**62,660 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,000千円	10,956千円

1 事業内容

(1) 市消防力の整備・維持のため、消防署用地の確保をはじめ、消防団各分団の詰所の整備や消火栓、防火水槽等の消防水利の維持管理及び飲料水兼用型耐震性貯水槽の保守を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	消火器ボックス、消火栓器具ボックス、消火栓用ホース	376,350円
修繕費	消防団分団詰所エアコン修繕(新屋分団、三好下分団)	152,460円
	防火水利標識修繕、消火栓器具ボックス修繕	192,500円
委託料	飲料水兼用型耐震性貯水槽保守点検業務委託	1,639,000円
賃借料	消防署用地賃借料	2,550,548円
工事請負費	防火水槽掘削工事	297,000円
負担金	消火栓等維持管理費負担金 [交付先]愛知中部水道企業団	6,628,919円
	消火栓等工事負担金 [交付先]愛知中部水道企業団	2,119,272円

2 事業の成果

消防署の用地確保、消防団分団詰所の修繕等により、消防吏員の勤務環境を整えることができました。

また、消火栓の維持管理及び街頭消火器等の維持管理を行い、消防水利の充実を図りました。

そのほか、飲料水兼用型耐震性貯水槽の保守点検、消火栓の修繕等、緊急用設備の適正な管理を行うことができました。

作成課【総務部 防災安全課】	事務事業番号	310207

消防施設整備・維持事業におけるSDGsの取組

款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 水防費
小事業名	**水防力強化・維持事業**				
施策の体系	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう				
	防災・減災				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
1,002 千円	1,004 千円	99.8 %	16 円	一般財源 16 円	1,019 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,002千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 水防訓練を開催し、非常参集をはじめ、土のうを使用した工法の習得や水のう及び大型土のうを使用した各種訓練を実施しました。

また、境川の水位を監視するカメラの映像配信環境を継続しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	水防訓練資材、土のう袋、水のう袋等	227,684円
手数料	大型土のう運搬費	198,000円
使用料	境川水位監視カメラ映像配信システム使用料	446,160円
原材料費	水防用山砂	117,260円

2 事業の成果

水防訓練では、従来の土のう工法に加え、水のう、大型土のう等の訓練を取り入れることにより、実災害を想定した、より実践的な内容とすることで、水害に対する対応力を向上させることができました。

また、カメラにより境川の水位を監視することで、早めの水防体制に活用することができました。



月の輪工法訓練



大型土のう設置訓練

みよし市水防訓練(みよし市西一色町地内　境川左岸)(令和7年5月11日)

作成課【総務部　防災安全課】	事務事業番号	310102

水防力強化・維持事業におけるSDGsの取組

款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費

小事業名	防災情報等伝達事業
施策の体系	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう
	防災・減災

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
16,796 千円	17,447 千円	96.3 %	275 円	一般財源 162 円	58,762 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	6,926千円	9,870千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 災害時における住民への情報伝達手段を確保するため、防災行政無線通信施設の維持管理及び防災ラジオ緊急割込放送の運用を行いました。

また、防災情報メール配信システムに大雨情報等を追加し、防災情報メール及び市公式LINEを通じていち早く配信を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
光熱水費	電気料	707,215円
委託料	防災行政無線保守点検業務委託	6,732,000円
	防災ラジオ緊急割込放送設備保守点検業務委託	297,000円
使用料	防災情報メール配信システム使用料	2,656,500円
	防災行政無線MCA利用料(移動系)	2,394,480円
	防災ラジオ緊急割込放送システム使用料	3,854,400円

2 事業の成果

防災行政無線通信施設の維持管理及び防災情報メール配信システムや防災ラジオ緊急割込放送の配信環境の維持、運用を通じ、災害時における住民への情報伝達手段を確保するとともに、防災情報メール配信システムによる警報発令時の非常配備職員の参集を行うことができました。

また、防災行政無線の遠隔制御装置バッテリー等の交換を行い、災害情報等を迅速かつ常に安定して発信できる体制を整えることができました。



防災行政無線(同報系)親局



防災行政無線(同報系)屋外拡声子局

作成課【総務部 防災安全課】	事務事業番号	310105

防災情報等伝達事業におけるSDGsの取組

款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費

小事業名	災害対策施設等整備・管理事業
施策の体系	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう
	防災・減災

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
12,723 千円	13,321 千円	95.5 %	208 円	一般財源 195 円	28,996 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	792千円	11,931千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 災害に対する取組として、通常の応急対策資機材の整備や生活物資、非常食等の備蓄等避難所運営に必要な資機材の整備を行いました。また、災害時に避難者が安心して快適に使用できる移動型バリアフリートイレトレーラーや非常用井戸ポンプの維持管理を行いました。

そのほか、自動体外式除細動器(AED)を購入し、各公共施設設置分を計6台更新しました。

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
消耗品費	災害用備蓄品(非常用排便収納袋、救急箱ほか)	956,126円
食糧費	非常食(11,200食)、非常用飲料水(10,800本)ほか	6,209,860円
通信運搬費	スマートフォン使用料	96,945円
手数料	非常用井戸水質検査	332,500円
委託料	フォークリフト保守点検業務委託	138,600円
	非常用井戸発電機保守点検業務委託	143,000円
	非常用井戸ポンプ点検業務委託	495,000円
	モバイルトイレ保守業務委託	594,000円
	可動式棚保守点検業務委託	247,940円
備品購入費	AED(6台)	2,525,160円

2 事業の成果

災害発生時における避難者想定数の見直しに伴い5か年計画で非常食や飲料水の備蓄を拡充しました。また、災害時の応急対策資材や生活物資の備蓄の充実を図ることができました。

モバイルトイレや防災拠点倉庫の可動式棚の保守点検を実施し、適切な備品や倉庫の管理運営を図ることができました。

スマートフォンを導入したことで、災害時に災害対策本部等が状況を迅速かつ正確に把握し、現場に的確な指示を出すことができるようになりました。



移動型バリアフリートイレトレーラー

作成課【総務部 防災安全課】	事務事業番号	310107

災害対策施設等整備・管理事業におけるSDGsの取組

款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費
小事業名	**防災力強化・維持事業**				
施策の体系	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう				
	防災・減災				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
14,820 千円	15,490 千円	95.7 %	243 円	一般財源 243 円	4,996 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	14,820千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1) 自主防災会との防災訓練、避難所運営に係る訓練等を実施しました。

また、ボランティアセンターを開設するための資機材の整備や次世代高度情報化ネットワークシステムの維持管理を行いました。

そのほか、災害時等の愛知県防災ヘリコプター運営協議会からの受援体制を継続しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	防災会議委員報酬(3人)	21,000円
消耗品費	防災訓練用資機材	134,308円
	ボランティアセンター開設用資機材	98,923円
負担金	愛知県防災ヘリコプター運営協議会負担金 [交付先]愛知県防災ヘリコプター運営協議会	942,000円
	愛知県防災行政無線運営協議会負担金 [交付先]愛知県防災行政無線運営協議会	2,567,221円
	次世代高度情報通信ネットワーク整備費負担金 [交付先]愛知県	9,779,902円
	災害対策研究職員派遣負担金 [交付先]国立大学法人 名古屋大学	567,000円

2 事業の成果

防災訓練、避難所開設運営訓練等の実践的な防災活動を通じ、発災時における市や自主防災会、各関連団体との役割分担やそれぞれの動きを確認することができました。

また、ボランティアセンター開設用資機材の整備や次世代高度情報通信ネットワークの維持管理により、発災時の迅速な対応ができる環境を整えることができました。



防災訓練(令和7年8月30日)

作成課【総務部 防災安全課】	事務事業番号	310108

防災力強化・維持事業におけるSDGsの取組

款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費
小事業名	**自助・共助力向上事業**				
施策の体系	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう 防災・減災				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
1,165 千円	1,297 千円	89.8 %	19 円	一般財源 19 円	2,279 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	33千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,132千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 南海トラフ地震をはじめとした大規模な災害において、市民の生命を守る重要な要素である自助、共助の行動が迅速に行えるよう、中日サバイバルキャンプや防災リーダー養成講座等を開催しました。

また、これらの機会を積極的に活用してもらうため、主に小学生を対象に参加記念品を配布しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	中日サバイバルキャンプ講師謝礼	300,000円
消耗品費	家具等転倒防止器具	82,896円
	防災備蓄啓発品	64,800円
委託料	防災リーダー養成講座業務委託	290,400円
	家具等転倒防止器具取付業務委託	99,220円
補助金	感震ブレーカー設置費補助金 [交付先]個人(7件)	62,000円

2 事業の成果

中日サバイバルキャンプの開催や家具等転倒防止器具設置補助金を通じて、市民に対し、広く自助意識の向上を図ることができました。

また、防災リーダー養成講座の開催により、新規防災リーダーの登録促進と、既存の防災リーダーの知識や技能の強化につなげることができ、市民の自助及び地域や自主防災組織による共助の支援体制を強化することができました。

さらに、非常食や飲料水等の備蓄の大切さを啓発するため、オリジナルアルファ米の啓発品を作成し、防災イベントにおいて配布を行うことで、市民の自助に対する意識向上を図ることができました。



中日サバイバルキャンプ
(令和7年10月18日・19日)



防災リーダー養成講座
(令和8年2月1日・8日)

作成課【総務部 防災安全課】	事務事業番号	310111

自助・共助力向上事業におけるSDGsの取組

款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費

小事業名	国民保護計画策定事業
施策の体系	その他(体系外)
	その他

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
－ 千円	67 千円	0 %	－ 円	一般財源 － 円	－ 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

1 事業内容

みよし市国民保護協議会条例に基づく会議の開催がなかったため執行なし

作成課【総務部 防災安全課】	事務事業番号	810171

国民保護計画策定事業におけるSDGsの取組

款	09 消防費	項	01 消防費	目	05 組合消防費
小事業名	**広域消防・広域防災負担金支払事業**				
施策の体系	効果的・効率的で安定した行財政運営				
	広域連携の推進				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
835,021 千円	**835,021 千円**	**100 %**	**13,668 円**	**一般財源 13,668 円**	**813,931 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	835,021千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) みよし市、豊明市、日進市、長久手市及び東郷町で組織する尾三消防組合に対し負担金を支払い、常備消防力の充実を図りました。

≪市内における火災、救急、救助件数≫

区 分	発生件数
火災	13件
救急	2,571件
救助	27件

≪みよし消防署、みよし消防署南出張所職員及び車両配置体制≫

区 分	職員数	消防車、救急車等の配備状況
みよし消防署	35人	タンク車、水槽車、化学車、はしご車、指令車、予防連絡車、救急車
みよし消防署南出張所	12人	タンク車、救急車

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
負担金	尾三消防組合負担金 [交付先]尾三消防組合	835,021,000円

2 事業の成果

尾三消防本部の消防力を維持し、円滑な消防・救急活動体制を確保することで、市民の生命・財産を守ることができました。

作成課【総務部 防災安全課】	事務事業番号	730383

広域消防・広域防災負担金支払事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 教育委員会費
小事業名	**教育委員会活動事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう				
	小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
3,128 千円	**3,189 千円**	**98.1 %**	**51 円**	**一般財源 51 円**	**3,105 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,128千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 教育行政の円滑な運営を図るため、教育委員会定例会を12回、臨時会を3回開催するとともに、教育委員会議の円滑な運営を目的に、定例会の開催前には協議会を開催しました。

さらに、教育及び教育行政全般について、教育委員の理解を深め、もって教育委員会運営の活性化に資するため、岡山県岡山市で開催された文部科学省主催の市町村教育委員会研究協議会に出席し、各市町村教育委員会において展開されている地域の実情、特性に応じた優れた施策についての情報・意見の交流や教育委員会の在り方についての協議を行いました。

期日	会場	研修内容
11月28日(金)	岡山コンベンションセンター	テーマ 1 不登校対策・いじめ対策について 2 特別支援教育の充実について 3 学校の適正規模・適正配置について

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報酬	教育委員会委員報酬(4人)	2,721,600円
旅費	教育委員県外研修等	246,600円
交際費	教育委員会交際費	123,500円
負担金	愛知県市町村教育委員会連合会負担金 [交付先]愛知県市町村教育委員会連合会	17,260円

2 事業の成果

教育行政の運営に関する基本方針、教職員の服務及び監督の一般方針、教育委員会事務局職員及び学校その他教育機関の職員(教職員を除く。)の任免、教育に関する事務の管理並びに執行状況の点検及び評価、教育委員会の規則及び規程の制定や改廃、学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導の基本方針、附属機関の委員の任免等を審議、決定することで教育行政の円滑な運営をすることができました。

文部科学省が主催する市町村教育委員会研究協議会に参加し、全国の地域の実情、特性に応じた特色ある優れた施策について情報収集することにより、教育委員の教育に関する理解や知識を深め、本市の教育行政の参考とすることができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120101

教育委員会活動事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
小事業名	**人件費**				
施策の体系	評価外				
	評価外				

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
601,577 千円	**633,329 千円**	**95.0 %**	**9,806 円**	**一般財源 9,417 円**	**531,532 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	759千円	23,103千円	0千円	0千円	0千円	0千円	577,715千円

1 事業内容

区 分	人 数	事業費
特別職	32人	300,124,264円
一般職常勤職員		
一般職再任用職員	2人	8,719,027円
会計年度任用職員	238人	292,733,585円

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	010116

人件費におけるSDGsの取組

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
小事業名	**みよし市教育振興基本計画推進事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう				
	小中学校教育				

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
4,094 千円	4,138 千円	98.9 %	67 円	一般財源 67 円	3,422 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	4,094千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 平成28年3月に策定し、令和3年3月に中間見直しを行ったみよし市教育振興基本計画の基本理念「学ぶ楽しさで人と人とをつなぐ」の下、計画の着実な実行と教育の更なる充実に取り組みました。

また、みよし市教育振興基本計画推進委員会での検討作業やパブリックコメントによる意見募集を経て、第2期みよし市教育振興基本計画「みよし教育プラン2035」を策定しました。

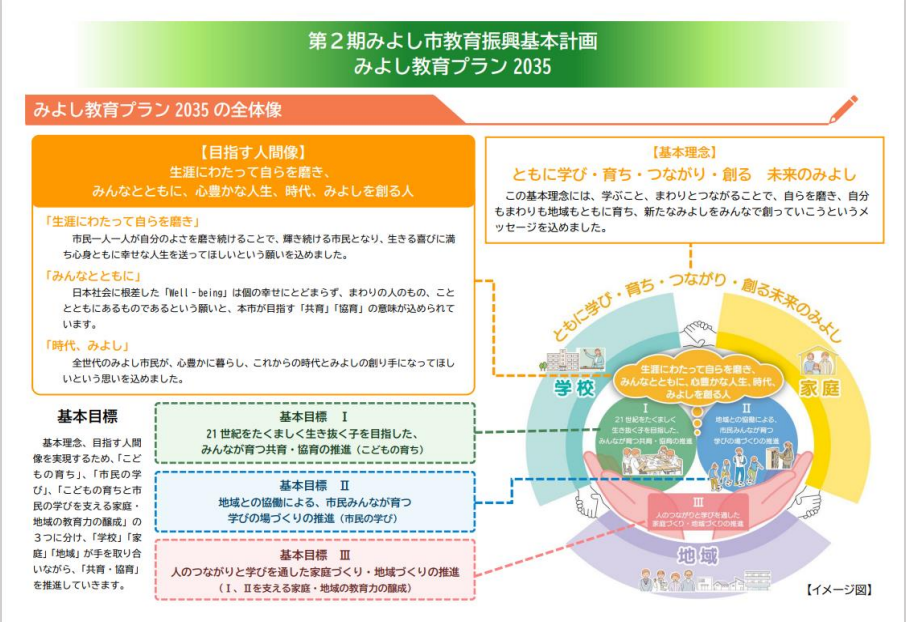
(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	教育振興基本計画推進委員会委員報酬(9人)	175,000円
委託料	教育振興基本計画策定支援業務委託	3,919,354円

2 事業の成果

16人の委員により構成される教育振興基本計画推進委員会において、次期教育振興基本計画の重点取組や体系別施策について審議し、計画案をまとめることができました。

また、教育振興基本計画策定支援業務委託により、前年度実施した現状分析やアンケート調査の分析を基に計画骨子案や計画素案を作成し、教育振興基本計画推進委員会やパブリックコメントの資料としたほか、計画本編及び概要版データを作成することができました。



第2期みよし市教育振興基本計画

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120102

みよし市教育振興基本計画推進事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
小事業名	**中小学校体育連盟事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう				
	小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
1,747 千円	1,747 千円	100 %	29 円	一般財源 29 円	1,987 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,747千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 小中学生の心身の育成、体力の補強及びスポーツ活動の振興を図るため、中小学校体育連盟に負担金を支払い、各種大会を開催しました。

期日	内容	参加生徒
6月21日(土)～7月13日(日)	豊田みよし地区中学校総合体育大会	697人
9月27日(土)～10月11日(土)	みよし市長杯争奪中学校新人体育大会	656人

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
負担金	愛知県中小学校体育連盟みよし支所負担金 [交付先]愛知県中小学校体育連盟みよし支所	1,747,000円

2 事業の成果

児童生徒にとって、中小学校体育連盟主催による各大会は大きな目標であり、心身を鍛える動機付けとなりました。部活動での取組や成果が本人だけでなく、他の児童生徒にとっても運動への関心を高めることにつながっており、生涯スポーツにつながる良い経験となりました。

大会結果

団体種目	豊田・みよし地区大会	西三河大会	愛知県大会
軟式野球	優勝 (三好中・南中)	出場 (三好中・南中)	
	4位 (北中・三好丘中)	出場 (北中・三好丘中)	
卓球男子	3位(三好丘中)	出場(三好丘中)	
卓球女子	準優勝(三好丘中)	出場(三好丘中)	
	3位(北中)	出場(北中)	
剣道女子	6位(北中)	出場(北中)	
ソフトテニス女子	4位(北中)	出場(北中)	
柔道男子	準優勝(北中)	5位(北中)	ベスト8(北中)
柔道女子	優勝(北中)	ベスト4(北中)	ベスト8(北中)
バレーボール男子	5位(三好丘中)	出場(三好丘中)	
弓道女子	準優勝(三好中)	出場(三好中)	

個人種目	豊田・みよし地区大会	西三河大会	愛知県大会
卓球男子	3位1人、6位1人、 入賞5人(西三出場)		
卓球女子	3位1人、4位1人、 入賞10人(西三出場)	8位1人 (県出場)	
ソフトテニス女子	6位1ペア	入賞1ペア (県出場)	
柔道男子	優勝2人、準優勝 1人、3位1人	3位2人	3位1人、 ベスト8 1人
柔道女子	優勝1人、 準優勝1人	優勝1人、 準優勝1人	
弓道男子	敢闘賞1人 (西三出場)		
弓道女子	3位1人		
陸上	優勝1人、 7位1人、 入賞1人(西三出場)	3位1人	
水泳		優勝1人、 4位1人	優勝1人

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120103

中小学校体育連盟事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
小事業名	**教育施策推進事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう 小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
27,031 千円	**27,336 千円**	**98.9 %**	**442 円**	**一般財源 226 円**	**5,616 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	13,195千円	13,836千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1)「みよし市教育振興基本計画」に基づき、児童生徒の「生きる力」を育むために必要な教職員の指導力や資質の向上を図るため、国や県から情報取集し教職員間で情報共有を行いました。

読書活動は、こどもの感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにしますが、近年、様々な情報メディアの普及によりこどもの生活環境が変化し、こどもの活字離れが問題となっています。その解決のため学校図書館を充実させることを目的に、学校図書館システムを運用しました。

自治体情報システムの標準化・共通化システム導入に伴い、就学事務に係るシステムを導入しました。

これまでの学校評議員会を基として、幅広く地域住民等が参画することのできる学校運営協議会に順次移行していましたが、令和7年度に12校全てが移行し終え、活動を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	学校運営協議会委員報酬(85人)	1,631,000円
委託料	学校図書館システム保守業務委託	668,360円
	学校図書館システム更新設定業務委託	4,059,000円
	学齢簿・就学援助標準準拠システム構築・導入業務委託	13,374,900円
備品購入費	学校図書館システム用パソコン及び周辺機器(12台)	4,269,100円
負担金	校長会関連諸団体負担金 [交付先]みよし市小中学校長会	636,400円

2 事業の成果

校長会をはじめ、小中学校教職員が各分野の会に所属し、教科・領域に関する研究・発表を行い、教職員の指導力や資質を向上することができました。

また、コンピュータによる蔵書管理、バーコードによる貸出・返却の管理、インターネットを使った蔵書検索による購入図書選定の補助、貸出数のデータ管理を行う学校図書館システム及びパソコン等の機器を更新し、引き続き利用できる環境を整えることで、こどもの読書活動を促すことができました。

総務省が進める自治体情報システムの標準化・共通化システム導入に合わせ、学齢簿の編成や就学援助等の就学事務に係るシステムを構築したことで、令和8年度から住民記録や税情報のシステム連携が可能になり、効率的に事務を行うことができるようになりました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120104

教育施策推進事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
小事業名	**児童生徒交通安全防犯対策事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう 小中学校教育				

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
19,544 千円	**19,632 千円**	**99.6 %**	**320 円**	**一般財源 311 円**	**72,936 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	559千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	18,985千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 警察、道路管理者及び学校関係者の3者により、通学路における交通危険箇所等の合同点検及び対策案会議等を行い、通学路交通安全プログラムに基づき、学校指定通学路内において、通学路防護柵設置工事、横断歩道カラー舗装工事及び横断歩道等交通安全対策工事を実施しました。

また、スクールガードリーダー3人の配置や、こども110番の家の表示旗等の整備を行い、学校安全体制の充実を図りました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	スクールガードリーダー謝礼(3人)	1,151,000円
消耗品費	こども110番の家表示旗、スクールガードリーダーベスト等	205,225円
賃借料	通学路防犯カメラ機器賃借料(16台)	1,511,664円
使用料	メール一斉配信システム利用料	323,400円
工事請負費	通学路防護柵設置工事(市道三好丘北線)	8,850,600円
	横断歩道等交通安全対策工事(市道寺ノ前三好丘線ほか)	6,707,800円

2 事業の成果

通学路防護柵及び横断歩道カラー舗装等の安全対策設備の設置をすることにより、通行する車両に対して通学路であることを明示し、注意喚起を促すことで通学路の安全を確保しました。

こども110番の家やスクールガードの登録、スクールガードリーダーの見守り等、小学校を中心に地域ぐるみでこどもの安全を見守る体制を作ることができました。これにより、市内の児童生徒が、大きな事件・事故に巻き込まれることなく、安全に生活することができました。

横断歩道等交通安全対策工事により、車止め、道路照明灯、ガードパイプを新たに設置し、歩行者の安全性が向上したことで、通学路における児童・生徒の安全確保が図られました。



こども110番の家表示旗



スクールガードリーダーベスト

≪通学路安全対策設備工事(横断歩道カラー舗装)≫

学校区	場　所	面　積
北部小	茀生町地内	49.60㎡
北部小	茀生町地内	30.05㎡

≪通学路防護柵設置工事≫

学校区	場　所	延　長
三好丘中	三好丘地内	497m

≪横断歩道等交通安全対策工事≫

学校区	場　所	箇所数
北部小	福谷町地内	4基 (車止め)
北部小	福谷町地内	1基 (道路照明灯)
北部小	福谷町地内	54m (ガードパイプ設置)



横断歩道カラー舗装後



防護柵等設置工事後



道路照明灯設置後



ガードパイプ設置状況

作成課【教育部　学校教育課】	事務事業番号	120105

児童生徒交通安全防犯対策事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
小事業名	**小中学生スポーツ文化芸術活動事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう 小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
4,458 千円	**4,511 千円**	**98.8 %**	**73 円**	**一般財源 73 円**	**4,280 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	4,458千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 小中学生思い出コンサートとして、小学6年生と中学3年生を対象に、愛知県立芸術大学管弦楽団による演奏会を開催しました。

また、小中学生夢の作品展として、小中学生が造形作品の制作を通し、創造性を養いました。また、展示を通し、小中学生の作品への思いを市民に見ていただく機会となりました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	小中学生思い出コンサート業務委託	800,000円
	小中学生夢の作品展会場設営等業務委託	1,177,000円
使用料	小中学生思い出コンサート会場・器具使用料	137,850円
	小中学生夢の作品展会場使用料	505,670円
賃借料	小中学生思い出コンサートバス借上料	1,475,100円
補助金	各種大会児童生徒派遣事業補助金 [交付先]市内中学校	105,940円

2 事業の成果

小中学生思い出コンサート事業では、普段経験することの少ないクラシック音楽の生演奏を聴くことや、演奏会の中での楽器紹介で楽器ごとの特徴や異なる音色を教えてもらう等、授業では味わえないオーケストラの魅力を肌で感じ、学習指導要領における鑑賞能力を高める実践の場とすることができました。初めてオーケストラの演奏を聴いた児童生徒も多く、美しい音色や迫力のある生演奏に感動し、小・中学校それぞれの最終学年として、学校生活の思い出になるとともに、クラシック音楽に興味を持つきっかけとなりました。また、市内の同学年児童生徒が一堂に集まる場は、他校の児童生徒との関わり方や規律のある団体行動、マナー等を学ぶ良い機会にもなりました。

小中学生夢の作品展事業では、こどもから大人まで多くの来場者があり、皆が笑顔で作品を見て回っていました。作品を作った児童生徒にとっては、他校の作品を見ることでこれからの創造性が掻き立てられ、また一緒に来場した家族等ともその思いを共有することができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120106

小中学生スポーツ文化芸術活動事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
小事業名	**笑顔輝く子ども基金積立事務**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう				
	小中学校教育				

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
213,907 千円	**213,908 千円**	**99.9 %**	**3,501 円**	**一般財源 3,274 円**	**658,976 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	13,907千円	200,000千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 基金への積立て及び基金の運用に伴い生じた利子の積立てを行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
積立金	笑顔輝く子ども基金積立金	200,000,000円
	笑顔輝く子ども基金積立金利子	13,907,284円

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120184

笑顔輝く子ども基金積立事務におけるSDGsの取組

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
小事業名	**友好都市教育親善大使受入事業**				
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう				
	多文化共生				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
496 千円	**506 千円**	**98.0 %**	**8 円**	**一般財源 3 円**	**483 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	300千円	196千円

1 事業内容

(1) 10月９日から10月18日まで友好都市コロンバス市の教育関係者を教育親善大使として招へいし、市内小中学校において友好交流及び国際交流を深めました。

期 日	内 容
10月９日(木)	来日
10月10日(金)	市長表敬訪問、教育長との対談、 歴史民俗資料館・石川家住宅案内、教育委員会との意見交換、 ウェルカムパーティー
10月11日(土) ～10月13日(月)	ホストファミリーとの交流
10月14日(火) ～10月17日(金)	学校訪問、市民との交流会、近隣視察
10月18日(土)	帰国

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	ホストファミリー謝礼	44,000円
	通訳者謝礼	12,000円
委託料	航空券・宿泊手配業務委託	415,210円
使用料	カネヨシプレイス施設・器具使用料	15,150円
	有料道路通行料	5,830円

2 事業の成果

友好都市コロンバス市から教育親善大使を招へいし、市内小中学校において児童生徒及び教職員と交流を深めたほか、教育委員会との意見交換では、毎年実施している中学生派遣事業についての意見調整や、アメリカの教育事情と日本の教育事情等について意見交換を行うことができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	130403

友好都市教育親善大使受入事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費

小事業名	教育委員会事務局運営事業
施策の体系	その他(体系外)
	その他

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
8,124 千円	8,643 千円	94.0 %	133 円	一般財源 133 円	11,331 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	8,124千円

1 事業内容

(1) 教育委員会事務局の運営に関する事務及び市の教育について功績のあった人や皆勤の児童生徒に対する褒賞事務を行うとともに、愛知県教育委員会から指導主事の派遣受入れを行いました。

区 分	該当者
感謝状	校長1人
皆勤賞	小学校6年間3人、小中学校9年間4人
賞状	小学生31人、中学生38人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	教育委員会活動事業点検評価謝礼、褒賞記念品等	121,798円
負担金	派遣受入れ職員人件費負担金 [交付先]愛知県教育委員会西三河教育事務所	7,569,137円

2 事業の成果

教育に関し学識経験者の知見を活用し、教育に関する事務の管理並びに執行状況の点検及び評価をし、公表等をすることで教育委員会の事務の改善を促進することができました。

教育委員会が所管する分野において、それぞれの分野での功績が顕著な方を褒賞することにより、教育活動やスポーツ振興等を促進することができました。

愛知県教育委員会に属する指導主事の受入れにより、学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項について指導してもらうことで、学校教育を充実させることができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	810172

教育委員会事務局運営事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 奨学費

小事業名	高等教育修学支援事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	青少年健全育成

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
11,427 千円	11,523 千円	99.2 %	187 円	一般財源 126 円	10,061 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,744千円	7,683千円

1 事業内容

(1) 私立高等学校等授業料の補助及び奨学金の支給を行いました。

① 私立高校等授業料補助事業

私立の高等学校、専修学校等に在籍する者に対して、公立高校との保護者負担の格差是正を図るため、1人当たり12,000円の補助を行いました。ただし、対象者が当該年度分として私立高等学校等へ納入すべき授業料が12,000円に満たない場合は、その授業料の相当額を補助しました。

② 奨学金支給事業

経済的理由によって修学困難な学生及び生徒に対し、その学業に必要な資金を支給することにより教育の機会均等と人材の育成を図ることを目的に、奨学金支給基準に基づき、学業に必要な資金を支給しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
補助金	私立高校等授業料補助金 [交付先]個人(337人)	4,022,820円
交付金	奨学金 [交付先]個人(59人)	7,404,000円

2 事業の成果

① 私立高校等授業料補助事業

私立高等学校等授業料の保護者負担を軽減することにより、教育の機会均等の原則を確保し、併せて私立教育等の振興を図ることができました。

② 奨学金支給事業

経済的理由によって修学困難な学生及び生徒に対し、その学業に必要な資金を支給することにより教育の機会均等と有用な人材の育成を図ることができました。

また、令和7年度は昨年度に引き続き、県内の大学、高等学校及び市内私塾に制度の周知依頼を行ったことで、申請者数が増加しました。

≪奨学金支給実績≫

区 分	支給者数	事業費
高校生	21人	2,016,000円
大学生	38人(うち1人は5か月のみの支給)	5,388,000円

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120201

高等教育修学支援事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 奨学費

小事業名	奨学基金積立事務
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	青少年健全育成

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
3,483 千円	3,484 千円	99.9 %	57 円	一般財源 49 円	4,143 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	483千円	3,000千円

1 事業内容

(1) 基金への積立て及び基金の運用に伴い生じた利子の積立てを行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
積立金	奨学基金積立金	3,000,000円
	奨学基金積立金利子	483,001円

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120281

奨学基金積立事務におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	04 現職教育費

小事業名	現職教育事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
47,556 千円	48,688 千円	97.7 %	778 円	一般財源 668 円	46,296 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	6,774千円	0千円	0千円	0千円	0千円	40,782千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 新規採用教職員から校長等管理職まで、それぞれの職務職責に必要とされる能力開発を行うための研修の実施及び研究事業への支援を行いました。

また、愛知県が実施する「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」の研究推進校に指定された緑丘小学校において、家庭・地域との連携による道徳教育等の実践に取り組みました。

そのほか、日本語が十分でない外国人児童生徒のために、初期の日本語教育や小中学校への適応指導を行うことにより、児童生徒の小中学校での学校生活を円滑に進め、早期の適応を図ることを目的とした初期指導教室(なかよし教室、おかよし教室)に加え、就学前及び小学1・2年生の外国人のこどもが生活に必要な日本語を学ぶ機会とし、小学校への早期の適応を図ることを目的としたこども向け日本語教室(みよしっこひろば)を開催しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	教員研修事業講師謝礼	1,734,320円
	研究委嘱校研究発表事業講師謝礼	160,000円
	道徳教育の推進事業講師謝礼	120,000円
筆耕翻訳料	外国人児童生徒保護者向け通訳及び筆耕翻訳	1,218,000円
委託料	小中学校現職教育業務委託	4,253,000円
	初期指導教室運営業務委託	25,542,000円
	小中学校ICT支援員業務委託	13,860,000円

2 事業の成果

研修・研究事業へ支援を行うことにより、教員としての指導力を向上することができました。各校の研修成果を他校にも広げるため、講師を招へいする授業研修会の日程を市内小中学校に伝え、他校の教員も参加することで各校の研修成果を共有することができました。緑丘小学校で取り組んだ「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」では、地域の力を生かした教育活動と道徳の授業を意識的に結び付けることで、児童が体験を生かして思考したり、道徳で考えたことを実践したりすることができました。

初期指導教室では40人の児童生徒に対して、こども向け日本語教室では23人の参加者に対して日本語教育を実施し、早期の適応を図ることができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120109

現職教育事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	05 教育支援費
小事業名	**幼稚園支援事業**				
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう 子育て支援				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
281,327 千円	**334,739 千円**	**84.0 %**	**4,605 円**	**一般財源 1,686 円**	**256,910 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	111,780千円	66,562千円	0千円	0千円	0千円	0千円	102,985千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 幼稚園児の健康管理や教育の充実を図ることを目的に、市内の私立幼稚園に対し、補助金の交付等を行いました。

また、幼児教育・保育無償化のため、私立幼稚園を利用する満3歳から5歳児までの入園料、利用料等を無償とするとともに、年収360万円未満相当世帯等のこどもたちについて給食費の副食費を減免し、保護者の経済的負担を軽減しました。

子ども・子育て支援法により1号認定を受けたこどもが通園する認定こども園に対しては、施設型給付費を支給しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
負担金	施設型給付費 [交付先]東山幼稚園、三好丘聖マーガレット幼稚園、市外施設3園	105,415,125円
補助金	私立幼稚園教育振興費補助金 [交付先]三好桃山幼稚園、ベル三好幼稚園、まこと第二幼稚園	5,330,000円
	私立幼稚園協会振興補助金 [交付先]私立幼稚園協会	900,000円
	私立幼稚園等施設整備費補助金 [交付先]三好桃山幼稚園	2,000,000円
	給食費無償化事業支援金 [交付先]市内・市外幼稚園	34,197,960円
扶助費	子育てのための施設等利用給付	131,348,640円
	実費徴収に係る補足給付費	2,042,254円

2 事業の成果

幼稚園における教育の普及、園児の健全育成及び教諭の資質向上を図ることができました。

幼稚園に通う園児のうち、全ての園児に給食費相当額を支給することで、保護者の負担軽減を図ることができました。

私立幼稚園を利用する満3歳から5歳児までのこどもたちについては、入園料、利用料等を無償とし、また、年収360万円未満相当世帯等のこどもたちについては、給食費の副食費を減免し、保護者の経済的負担を軽減しました。

作成課【こども未来部 保育課】	事務事業番号	110120

幼稚園支援事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	05 教育支援費

小事業名	みよし市教育センター事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
27,920 千円	28,183 千円	99.1 %	457 円	一般財源 419 円	22,126 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	2,350千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3千円	25,567千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 教育相談やふれあい教室、初期指導教室等の機能を、教育センター「学びの森」に置き、ふれあい教室の運営やいじめ・不登校等の対策支援を行ったほか、専門相談員や市スクールカウンセラーによる未就学児、児童生徒、保護者及び担当教員への教育相談を行いました。

また、豊明市、日進市、東郷町との共同事業として、愛知県弁護士会からの推薦によるスクールロイヤーを配置し、学校における対応困難事案に対する相談業務を実施しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	いじめ問題対策委員会委員報酬(5人)	115,000円
報償費	専門相談員謝礼(4人)	8,816,500円
	市スクールカウンセラー謝礼(5人)	7,232,500円
光熱水費	電気料、ガス料、水道料	970,427円
委託料	消防設備保守点検、清掃業務、施設警備業務委託	414,590円
	スクールロイヤー設置業務委託	660,000円
使用料	悩み相談アプリ	231,000円
工事請負費	教育センター防水改修工事(週休2日)	7,590,000円
備品購入費	ふれあい教室パソコン(3台)	403,700円
	WISC-V換算アシスタント(1台)	42,625円

2 事業の成果

教育相談では、臨床心理士等の専門相談員が児童生徒、保護者及び教職員を対象に、学校生活や不登校等の悩みに対応しました。

また、市のスクールカウンセラーを配置し、教職員と連携して各学校で週1回、児童生徒及び保護者にカウンセリングを実施し、児童生徒の生活相談や精神面でのサポートができました。

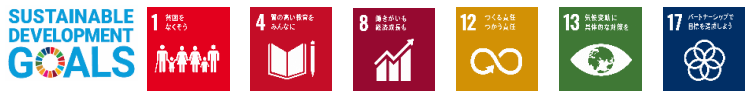
スクールロイヤー配置事業については、対応が困難な案件に対し、豊明市とパートナーを組む形で2人の弁護士による定期的及び臨時的な相談を実施しました。

受験期や多感な成長過程にある中学3年生を対象に1人1台端末を活用した悩み相談アプリを導入し、生徒の悩みの早期把握や適切な支援を行うことができました。

雨漏りが発生していた箇所の改修工事を実施したほか、教育相談等に必要なパソコンやソフトを購入したことで、児童生徒や教職員等が快適に施設を利用することができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120110

みよし市教育センター事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	05 教育支援費

小事業名	教育支援事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
48,247 千円	64,327 千円	75.0 %	790 円	一般財源 771 円	34,840 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	1,168千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	47,079千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1) 市内在住の児童生徒の適正就学を図るため、教育支援委員会を2回開催しました。

学校に在籍する医療的ケア児に対して、適切な支援をするため、看護師等の配置を行いました。

豊田市立豊田特別支援学校の在籍児童生徒人数(9人)に応じて豊田市へ協力金を支払いました。

児童生徒一人一人の学校・学級適応感を総合的に測定するため、hyper-QUによる診断を実施しました。

フリースクール等を利用する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため交通費に対する補助金を交付しました。また、学校給食センターから給食の提供を受けていない児童生徒の保護者の負担軽減となるよう、市の給食費相当額を支援しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	hyper-QU実施に伴う講師謝礼	282,657円
消耗品費	特別支援学級児童生徒交流会消耗品	24,997円
手数料	hyper-QU検査手数料	5,079,840円
委託料	医療的ケア児支援業務委託	3,504,724円
負担金	豊田市立豊田特別支援学校運営協力金 [交付先]豊田市	23,896,000円
補助金	フリースクール補助金 [交付先]フリースクール等を利用する児童生徒の保護者	14,262円
交付金	小中学校給食支援金 [交付先]小中学校児童生徒の保護者(延べ578人)	15,098,870円

2 事業の成果

教育支援委員会では、計243人の児童生徒について教育、医療等さまざまな立場の委員から助言をいただくことで、児童生徒にとって適切な就学先を検討することができました。

特別支援学級児童生徒交流会を三好中学校区及び南中学校区の6校、北中学区3校、三好丘中学区3校でそれぞれ開催し、特別支援学級に在籍する203人の児童生徒が出し物や工作、ゲームを一緒に楽しんだり、中学校の授業の見学を行ったりしました。

また、学校や校外学習時に医療的ケア児に対して必要に応じ看護師を配置することで、児童生徒が安心して学校生活が送れるよう支援しました。

hyper-QUを実施したことにより、不登校になる可能性の高い児童生徒や学習意欲が低下している児童生徒の傾向をつかみ、早期対応につなげることができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120111

教育支援事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	05 教育支援費
小事業名	**授業支援事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう 小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
32,797 千円	32,809 千円	99.9 %	537 円	一般財源 537 円	32,205 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	32,797千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 外国語を理解し、外国語で表現する能力を養い、言葉や文化に対する関心を高め、国際理解を深めることを目的とし、全小中学校に外国語指導助手を派遣しました。

運動会・体育祭で、児童生徒を日差しから守り、また熱中症を防ぐため、テントを賃借し設置しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	外国語指導助手派遣業務	30,885,008円
賃借料	小中学校運動会及び体育祭用テント賃借	1,911,800円

2 事業の成果

外国語指導助手を全小中学校に派遣することで、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てることができました。また、外国語指導助手とのコミュニケーションを通して、英語を活用する楽しさを学びました。

小学生は、学級担任の授業計画により、外国語指導助手と英語を使って話す場面を授業の中に計画的に位置付けることで外国人に慣れ、進んで会話をすることができるようになりました。中学生は、教科担任が外国語指導助手と生徒の会話を授業の中に位置付けたり、外国語指導助手による授業中の個別指導の中で課題について助言したりすることで、教科書の基本的な英語表現だけでなく、英語の表現や語彙が増え、発達段階に応じて、英語で積極的にコミュニケーションをとることができるようになりました。

テントを賃借し使用したことで運動会・体育祭を安全に実施することができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120138

授業支援事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費

小事業名	小学校保健推進事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
28,524 千円	28,987 千円	98.4 %	467 円	一般財源 467 円	28,718 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	10千円	0千円	0千円	0千円	0千円	28,514千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 学校保健安全法第13条の規定に基づき、児童3,639人の健康診断を行い、また、同法第15条の規定に基づき、教職員223人の健康診断を行いました。

≪学校別児童数・学級数≫ (令和7年5月1日現在)

学校名 / 種別	中部	北部	南部	天王	三吉	三好丘	緑丘	黒笹	合計
児童数	464人	626人	290人	690人	389人	424人	362人	394人	3,639人
学級数	20	26	14	28	18	20	14	15	155
教職員実施者	32人	30人	24人	39人	24人	31人	21人	22人	223人

(学級数単位:クラス)

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報酬	学校医等報酬(内科医9人、歯科医10人、耳鼻咽喉科医2人、眼科医4人、学校薬剤師7人)	16,765,670円
手数料	就学時健診手数料、定期健診及び就学時健診看護師等手数料	1,057,486円
負担金	教職員健康診断 [交付先]みよし市民病院	6,760,554円
	児童健康診断 [交付先]みよし市民病院	2,847,966円

2 事業の成果

学校医(内科・歯科・耳鼻咽喉科・眼科)の定期健診の実施により、児童の健康状態を把握し、学校生活を健康に過ごすことができました。さらに、就学時健診を行うことで、入学前に疾病の早期発見・早期受診につなげることができました。

教職員及び児童の健康診断を行うことにより、健康管理をすることができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120112

小学校保健推進事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費
小事業名	**小学校管理運営事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう				
	小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
623,579 千円	**667,562 千円**	**93.4 %**	**10,207 円**	**一般財源 10,207 円**	**333,837 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	932千円	151,151千円	0千円	1,899千円	2,646千円	186,475千円	280,476千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1) 小学校施設の維持及び学習環境の整備のため、児童用の机椅子を購入し、経年劣化に伴う必要な消耗品、管理用・教材用備品及び学校図書館の図書を購入しました。

また、教育用コンピュータ機器、GIGAスクール構想の実現に関連した一人一台タブレット端末等、情報教育環境の整備及び維持管理を行いました。

≪学校別児童数・学級数≫ (令和7年5月1日現在)

種別＼学校名	中部	北部	南部	天王	三吉	三好丘	緑丘	黒笹	合計
児童数	464人	626人	290人	690人	389人	424人	362人	394人	3,639人
学級数	20	26	14	28	18	20	14	15	155

(学級数単位:クラス)

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
消耗品費	学校管理運営用消耗品費	27,031,592円
	知能検査用紙	615,930円
	理科消耗的備品	756,870円
	児童用机椅子	5,436,926円
	小学校用静電式タッチペン	1,455,517円
印刷製本費	運営・教材用印刷製本費	1,031,063円
光熱水費	電気代、ガス代、水道代	67,550,596円
修繕費	学校施設修繕	9,039,765円
	管理用・教材用備品修繕、消防用機器修繕	2,080,617円
	タブレット修繕費	1,298,514円
通信運搬費	電話料	3,591,134円
	モバイルルーター通信費	484,647円
	学校LAN回線使用料	4,183,920円
	学校ネットワーク回線使用料	79,201円
保険料	全国市長会学校災害賠償保険	870,873円
手数料	剪定、備品メンテナンス等	2,441,970円
委託料	小学校校内通信ネットワーク保守業務委託	880,000円
	5小学校教育用コンピュータ機器等保守延長業務委託	196,900円
	小学校体育用具及び遊具保守点検業務委託	1,609,053円
	小学校施設総合維持管理業務委託	20,873,356円
	樹木管理等業務委託	2,312,899円
	中部小学校南側緑地帯管理業務委託	3,256,000円

委託料	学校環境衛生基準測定計器検査業務委託	145,090円
	小学校体育施設メンテナンス剤塗布等業務委託	1,464,190円
	産業廃棄物(粗大ごみ)収集運搬及び処分、並びに特定家庭用機器運搬業務委託	1,785,530円
	小学校ICTヘルプデスク業務委託	1,962,400円
	一人一台タブレット端末設定業務委託	53,533,333円
賃借料	学校用地賃借料	14,396,499円
	デジタル印刷機賃借料	1,953,600円
	コピー機リース料	4,461,302円
	教育用コンピュータ機器等賃借料	28,030,420円
	タブレット賃借料	28,570,482円
	大型提示装置賃借料	13,822,956円
使用料	小学校ネットワークシステム機器使用料	56,130,576円
	Microsoft365　Education　A3ライセンス使用料	3,718,000円
	5小学校教育用コンピュータ機器等ライセンス使用料	628,980円
	i-FILTER使用料	1,673,714円
	学習ソフト使用料	2,910,528円
備品購入費	教材用備品	587,400円
	管理用備品	1,124,632円
	理科備品	1,278,420円
	図書備品	2,235,406円
	校務用コンピュータ(59台)	12,876,160円
	GIGAスクール用タブレット端末購入	248,078,820円
	一人一台タブレット管理用機器等購入	2,990,533円

2 事業の成果

市内8小学校において、施設に関する各種保守点検業務委託、検査業務委託、維持管理等委託及び修繕を行い、学校施設を良好な状態で維持管理を行うことができました。

GIGAスクール構想第2期における一人一台タブレット端末の更新を行い、学習の質の向上及び個別最適化の推進を図ることができました。また、計画的に児童の学習環境を整備するため、各学校からの要望をもとに学校教育に必要な機器のリースと備品を購入し、適切な学校運営及び教育環境の向上を図ることができました。5小学校教育用コンピュータ機器等保守延長業務委託、5小学校教育用コンピュータ機器等ライセンス使用料及び学習ソフト使用料について、保守業務委託及びライセンスを延長利用することで、5小学校における教育ICT環境の安定的な運用を維持できました。機器の故障対応やソフトウェアの継続利用により、授業や校務に支障を生じさせることなく、児童の学習活動を支援することができました。中部小学校南側緑地帯管理業務委託について、高木の間引きを実施し、近隣に配慮した管理を行うことができました。学校環境衛生基準測定計器検査業務委託について、騒音計及び粉塵計の法定検査及び校正を実施し、適正な検査を行うことができるようになりました。

作成課【教育部　学校教育課】	事務事業番号	120114

小学校管理運営事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
小事業名	**小学校就学援助事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう 小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
5,309 千円	7,012 千円	75.7 %	87 円	一般財源 81 円	6,367 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	366千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	4,943千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 経済的な理由によって就学困難な要保護及び準要保護家庭、また、特別支援学級に通学する児童がいる家庭に対して、新入学用品費、学用品費、校外学習費、修学旅行費等の援助を実施しました。

≪実績≫

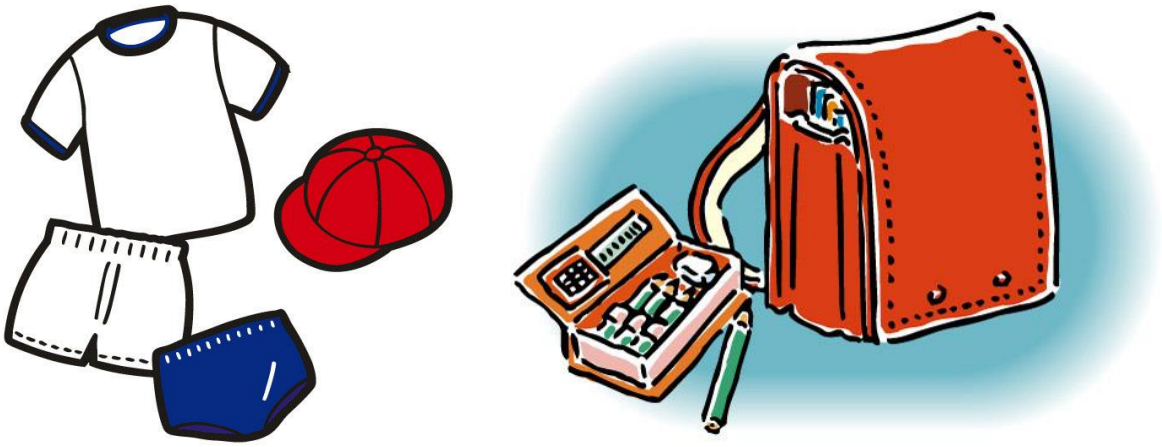
区 分	申請者	認定者		不認定者
要保護・準要保護児童就学援助費	199人	継続	新規	16人
		165人	18人	
特別支援学級児童就学奨励費	90人	70人		20人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
扶助費	要保護・準要保護児童就学援助費	4,576,355円
	特別支援学級児童就学奨励費	732,983円

2 事業の成果

経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対して、新入学用品費、学用品費、校外学習費、修学旅行費等の必要な援助をすることで、保護者の経済的負担を軽減し、教育環境の改善を図ることができました。



援助対象となる学用品等　　出典:イラスト満タン

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120117

小学校就学援助事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
小事業名	**小学校学習・教育活動事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう 小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
7,252 千円	**7,616 千円**	**95.2 %**	**119 円**	**一般財源 93 円**	**5,423 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,553千円	5,699千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1) 恵まれた自然環境の中で集団生活することを通じて、児童に自然との触れ合い、人との関わりの大切さ等を学んでもらうため実施する野外学習に必要なバス借上げを行いました。

みよし市立北部小学校の創立150周年事業として、記念式典の開催、記念誌の作成等を行いました。

学校管理下における児童のけが等が生じた場合に備え、災害共済給付金を支払いました。

また、対象児童に対して卒業記念品を贈りました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	卒業記念品	386,859円
	北部小創立150周年事業用消耗品	158,897円
印刷製本費	北部小創立150周年事業用印刷製本費	300,000円
通信運搬費	北部小創立150周年事業用通信運搬費	47,300円
賃借料	野外学習バス借上料	2,619,634円
負担金	日本スポーツ振興センター災害共済給付契約掛金 [交付先](独)日本スポーツ振興センター	3,389,760円

2 事業の成果

卒業記念品として、卒業証書ホルダーを贈呈しました。

北部小学校が創立150年を迎え、地域や学校関係者の方々への感謝と今後の発展を目指すための記念式典を開催しました。また、創立当時から現在までの歴史を振り返る150周年記念誌を作成しました。

野外学習におけるバス借上げを行うことで、会場と学校間の安全な交通手段を確保することができました。野外活動を通して、通常の学校生活では触れることのできない貴重な体験をすることで、児童の心身ともに調和のとれた健全な育成を図ることができました。

災害給付制度に加入することで、学校の管理下における児童のけが等に対し、保護者の負担軽減を図ることができました。また、日本スポーツ振興センターが発行する資料を保健・安全の指導に活用することで、各校において学校生活における安全意識の向上が図られました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120118

小学校学習・教育活動事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費

小事業名	小学校教科書・指導書・副読本等購入事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
10,181 千円	10,431 千円	97.6 %	167 円	一般財源 167 円	51,777 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	10,181千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 教師用教科書・指導書について不足分の購入を行いました。

児童が使用する補助教材の一部を購入しました。「楽しい読書」、「たのしい体育」及び「みんなの安全」については、クラスに備え付けの学級文庫として不足分を購入しました。

また、小学3・4年生の児童が社会科で地域の学習をするため、副読本「みよし」を配布しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	補助教材	6,043,290円
	教師用教科書	3,982円
	教師用指導書	3,409,780円
委託料	副読本「みよし」Webコンテンツデータ管理業務委託	150,000円
使用料	学習者用デジタル教科書使用料	574,200円

2 事業の成果

学習指導案の作成や教科研究に指導書を活用することで、より効果的な教科学習指導を行うことができました。

補助教材を活用して、国語(ことばのきまり)、算数(算数の友)、書写(かきぞめ手本)及びたのしい体育(保健体育)の基礎・基本を学ぶことができました。

「明るい心」は道徳の授業に、「みんなの安全」は安全学習に、「楽しい読書」は読書の時間で活用しました。

社会科でみよし市について学ぶ3・4年生に副読本「みよし」データ版を配布し、一人一台端末を活用して「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の流れを通して、みよしの良さを見つけながら学びを深めることができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120122

小学校教科書・指導書・副読本等購入事業におけるSDGsの取組

